

「豊中市の高齢者保健福祉・介護保険事業の施策展開と図書館サービス事例」に対する図書館協議会委員からの意見集約【2020年6月時点】

## 施策展開の項目に対するご意見

豊中市の高齢者保健福祉・介護保険事業の施策展開			図書館サービス事例 (豊中市・他市)	ご意見(令和2年3月17日時点)	豊中市の図書館の取り組み状況 (令和元年第3回図書館協議会資料 3月18日開催)	令和2年6月以降の 高齢者サービスの展開	備考
大項目	中項目	小項目					
1	1)		地域での健康づくり運動などへの支援	<p>豊中市の介護予防体操「とよなかパワーアップ体操」、豊中市社会福祉協議会「ぐんぐん元気塾」等、様々なDVDがあります。医療健康情報コーナーで積極的に宣伝、実際に岡町図書館でも市民の方々にやってみてもらってはどうか。</p>	<p>・「お口の健康づくり体操～ごっくん・にっこり体操」DVDは全館に所蔵しています。岡町図書館では、2階の雑誌コーナー横の広報ビデオの棚に配架しています。配架場所や活用方法の検討を進めます。</p> <p>・「とよなかパワーアップ体操」DVDは、長寿安心課が作成し、地域で自主グループを立ち上げ介護予防に取り組む活動への支援として、地域包括支援センターを通じてグループに対し配布しています。地域でお互いに見守りあいながら体操を通じて介護予防に取り組むことを目的としており、図書館での所蔵や、不特定多数への貸出利用には供さないと長寿安心課から説明を受けています。</p>	<p><b>資料活用の促進</b> ・医療健康情報コーナーの資料や、CDやDVD(市作成や広報DVDも含む)等の関連資料を合わせて紹介する等、資料活用の促進を進めます。 <b>非来館型サービスの促進</b> ・WEBサービスやeレファレンス等により、図書館の資料や情報を、家や介護施設にいる高齢の方へ届ける方法を検討します。</p>	<p>「とよなかパワーアップ体操」は令和2年3月20日からYouTubeのとよなかチャンネルで視聴が可能となり、家にいながら体操に取り組めるよう長寿安心課が動画の配信を行っています。</p>
1	3)		高齢者の雇用・就業対策の推進	<p>高齢者雇用に関する図書の展示等はすでに行われていると考えるが、他部署との連携等について何かされているのか。高齢者化社会において、必ずしも就業に結びつくものでなくても、高齢者のライフデザインを考えるきっかけを図書館が提供すべきだと考える。</p>	<p>・庄内図書館にシニアライフ応援コーナーを開設(R2.2.7～)。終活、介護、健康などのほか、旅行、一人分の料理、文字が大きいスマートフォンの使い方などシニア世代向けの資料をまとめて置いています。</p>	<p><b>庄内図書館シニアライフ応援コーナーのPR</b> ・同建物内の介護予防センターと公民館に協力を仰いで、各施設の高齢の利用者にもお知らせできるようにします。 ・図書館で毎年9月に開催している高齢者施設へのリサイクル本の展示・お渡し時に来館する施設職員とその施設を利用する高齢者の方へのPRも検討しています。</p>	
					<p>・高川図書館に「認め合い、知って納得！認知症情報コーナー」を設置(R2.2.29～試行)。後見人、レクリエーション、紙芝居、医療、介護、闘病記などのテーマで通覧できる量の資料と、認知症に関するチラシやパスファインダー、医療健康レクチャー講師の市立豊中病院看護師お薦めの本やチラシを、ブックトラックに載せてコーナー展示しています。フロア奥の目立たない場所でありながら、利用者の目には入る通路突き当りに設置するなど場所を工夫しています。緑地地域包括支援センター高川分室(上階)との連携も考えていきます。</p> <p>・ビジネス・就労支援サービスとして、くらし支援課と連携するなど、高齢者向けの雇用セミナーを図書館で開催することも検討していきます。</p>	<p><b>展示の活用</b> ・ソーシャルディスタンス確保のため座席を間引き間隔を空けているので、高川図書館では椅子がなくなった机をミニ展示として活用しています。 <b>緑地地域包括支援センター高川分室(以下:センター)との連携強化</b> ・これまでもセンター職員を招いて高齢者サービスでのカウンター対応の心がけや困ったときの対処法についてレクチャーを受けてきました。 ・7月には地域の農園を会場としたセンターのイベントに資料の提供などの協力を行なう予定です。 ・センターでは高齢者だけでなく児童生徒へのアプローチを進めていることから、図書館として協力するメニューとして、「認知症キッズサポーター養成講座」を今年度も高川図書館で開催する予定です。 ・職員が出向いておはなし会を行なっている放課後子どもクラブ、センター、図書館の連携イベントも検討を進めています。お互いの専門性やつながりを活かした取り組みを今後も続けていきます。</p>	
2	2)		見守り活動ボランティア みまサポ	<p>どのような活動をされているのか教えてください</p>	<p>・庄内幸町図書館2階の自習・新聞閲覧スペースで、図書館サポーターが本の修理等の作業を行いながら、利用者の見守り活動を行っています。</p>	<p><b>図書館サポーターの活動の継続</b> ・自習閲覧スペースの椅子を間引く、換気に留意するなど対策をとった上で、密にならないような形で再開することができれば、引き続き見守り活動を行っていただきます。みまサポメンバーは、庄内図書館でのサポーターもしておられるので、自習・閲覧スペースが再開できない間は、庄内図書館で本の修理などの活動を行っていただきます。</p>	

## 施策展開の項目に対するご意見

豊中市の高齢者保健福祉・介護保険事業の施策展開			図書館サービス事例 (豊中市・他市)	ご意見(令和2年3月17日時点)	豊中市の図書館の取り組み状況 (令和元年第3回図書館協議会資料 3月18日開催)	令和2年6月以降の 高齢者サービスの展開	備考
大項目	中項目	小項目					
2	2)		校区福祉委員会・自主防災会などへの参加	地域の活動に参加して下さるのは大切なことですが、参加を通じてどのような形で図書館サービスに生かしているのか知りたいです。	・地域活動への参加を通じて、図書館からの情報発信を行っています。また、地域が抱える課題や防災への取り組みに関して、地域住民や関連団体の意見や考えを直接、伺うことができ、それらのニーズに基づいて、新たな資料の購入や蔵書構成にいかしています。		
2	3)		認知症の人の家族への支援	認知症患者のいる家族同士が間接的に交流する機会を図書館で実施すると、気軽に参加しやすいと思うが、すでにそのような取り組みは実施されているのか。	・認知症をテーマに医療健康レクチャーを開催しています。参加者からの質問の時間を設けています。終了後に個別に講師に相談する参加者も多くいます。参加者同士の交流を進める工夫について、今後検討していきます。 第2回「もの忘れなんてこわくない」 第7回「認定看護師に聞く認知症の話」 第18回「家族が認知症になったら」 第21回「家族が認知症になったら」	<b>認知症サポーター養成講座の継続</b> ・認知症サポーター養成講座は、令和2年度も密集を避けながら図書館会場でも開催予定です。 <b>交流の場の検討</b> ・医療健康情報レクチャー以外で、図書館で気軽に相談や情報交換ができる取組みは現在はありません。 ・図書館を場とすることにこだわらないサービスの展開が望まれます。例えば、地域のケースワーカーの集まりに参加させてもらい、情報提供や資料の紹介をさせてもらう。地域の高齢者が集まる施設、参加するイベントと連携した取組みも検討を進めていきます。 <b>徘徊SOSメールの活用の検討</b> ・施設として徘徊SOSメール配信に登録すれば、ご家族の支援になると思います。個人情報を扱うことに加え、施設での登録が可能なのか(他の市施設でしているところがあるのかどうか)、図書館全体として対応可能かどうか等の確認が必要です。	長寿安心課では、認知症高齢者家族教室を開催しています。認知症の方を介護している家族の交流会を「豊中市老人介護者(家族)の会」の協力を得て実施。奇数月は交流会、偶数月は家族教室として勉強会を開催します。
4	1)	1)	認知症初期集中支援チームによる支援の充実	他市の取り組みで、回想法体験イベントが行われているが、豊中市ではどの程度実施されているのか。	・北摂アーカイブスの写真パネルの貸出を行っています。 ・市民活動情報サロンで、豊中駅周辺の昔の風景の写真展とギャラリートークを実施しました(H27年度1回)。 ・北摂アーカイブス「わがまちの歴史を語る」と題して、昭和の時代の豊中の街や暮らしについて地域の方から話を伺う行事を開催しました(R1年度2回)。語り手の話を聞きながら、参加者自身が昔のことをどんどん思い出し、語る姿が見られました。	<b>非来館型サービスの促進</b> ・高齢者施設への関りが困難な現状であり、非来館型のサービスの検討が必要。例えば毎年行っている高齢者施設向けの団体リサイクルの際に北摂アーカイブスの昔懐かしい写真が見られることを周知したり、各施設で役立つリンク集をお知らせするなど、情報提供を図書館から行う。	

## 全体に対するご意見

	委員からのご意見 (令和2年3月17日時点)	豊中市の図書館の取り組み状況 (令和元年第3回図書館協議会資料 3月18日開催)	令和2年6月以降の 高齢者サービスの展開	備考
1	どの項目に対してということではありませんが様々な高齢者サービスに取り組んでおられる中で(医療・介護・見守り・防犯等)どのようなサービス事例の需要が高いのでしょうか。	・図書館に対してということであれば、需要の大きさを比較できるデータはありませんが、貸出や予約の状況を見ていると、医療や介護へのニーズが高いと思われます。見守りや防犯は、利用者からのニーズというよりは図書館側で必要性を感じていて、図書館利用者や集会所利用のグループへの警察の見回り等も受け入れています。		
2	新聞を読むなど毎日利用される高齢者の方は男性が多いかと思うのですが、高齢女性の利用を増やすために市役所に足を運ばなくても図書館にホッとできるスペースやそこで相談できるコーナーや職員の存在が大きいかと思います(終活・葬儀・お墓・相続・家の片付けなど)。本来の業務とかけ離れるかもしれませんが図書館でも場所や情報の提供があれば足をはこぎきっかけになるのではと思います。	・庄内図書館にシニアライフ応援コーナーを開設(R2.2.7～)。終活、介護、健康などのほか、旅行、一人分の料理、文字が大きいスマートフォンの使い方などシニア世代向けの資料をまとめて置いています。 ・千里図書館の利用されている高齢の来館者の方は、いろいろな調べものにレファレンスカウンターをよく利用され、資料や情報提供を受けられています。	<b>非来館型サービスの促進</b> ・図書館サイトで、eレファレンスのPRを行ったところ、令和2年3月以前より受付の件数が増えています。日常のちょっとした疑問でeレファレンスを気軽に使っていただけるようPRします。	
3	市立豊中病院内に図書室？があったと思うのですが蔵書に関して管理など市立図書館との連携はあるのでしょうか。またこども以外にもボランティアの方による患者さんへの高齢者向けの読み聞かせなども行っておられるのでしょうか。	・団体向けのリサイクル本を提供しています。市立豊中病院内の患者図書室と各診療科の外来待合コーナーに、リサイクルの雑誌や図書を提供しています。小児科病棟の子どもの入院患者へは新しい絵本を長期貸出で提供しています。	<b>団体貸出の強化</b> ・高齢者施設等で読み聞かせをしている施設の職員やボランティアへの紙芝居の貸出や、読み聞かせの選書の相談に応じています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は高齢者施設等への外部からの訪問が難しい状況です。団体貸出や宅配等での資料提供に取組みます。	市立豊中病院の小児病棟ではボランティアグループ「おはなしたまてばこ」のメンバーが読み聞かせをしています。
4	全体に対してですが、高齢者保健福祉、介護保険事業とそれを必要とする高齢者をつなぐのは大変です。月に日を決めて予約制でもいいので実際に事業に携わっている人に来館してもらいなんでも相談できるコーナーを作ってみたらどうでしょうか。(高齢者やその家族は、活字から知識を得る余裕のない場合が多いと思われます)	・複合施設内に介護予防センター・デイサービスセンターがある高川図書館では、デイサービスを利用する人に定期的な宅配を行なっています。また、保存期限が切れたリサイクル雑誌をデイサービスの本棚に提供しています。 ・高齢の利用者やその家族と、高齢者保健福祉・介護保険事業のサービスをつなぐために図書館ができることについては、検討課題です。		
5	高齢者サービスの一番は、高齢になって図書館の利用が無くなるのを防ぐ事です。身体が衰えても今より少しでも近くで、受け取り、返却ができれば老後の楽しみが持て、健康長寿に貢献できます。具体例:大きな建物ではなくても、商店街の間口一間程度の空き店舗を借りて資料の受け渡しを行うスタンド的なスペースを設けるなどできないでしょうか。受け渡しもシルバーさんなどの図書館ボランティアにしてもらえば、生きがいづくりの場にもなり一石二鳥。利用者は会員に絞れば負担は少なくなります。	・(仮称)中央図書館基本構想の策定では、図書館のサービスポイントのあり方についても検討を進めていきます。 ・平成29年度から30年度にかけて、図書館が身近にない地域においてコンビニエンスストアでの予約受け渡しの可能性について該当地域の業者と協議しましたが、実現には至りませんでした。 ・他課と協力して、例えば、高齢者宅を訪問するときに本を持って行ってもらうなど、何かできることがないか検討していきます。	<b>アウトリーチサービスの継続</b> ・令和2年3月以降宅配サービスを休止していましたが、5月中旬より、密接を避けながら玄関先や施設入口での受け渡しにより宅配サービスを一部再開しています。 <b>非来館型サービスの促進</b> ・感染拡大予防のための休館中のサービスは、インターネットを介するものが中心になります。また、再開時も予約本貸出しなどが先行します。パソコン・スマートフォンをお持ちでも使いこなせていない方へ関連事業(千里公民館 パソコンサロン)の案内をさらに積極的に行います。またWebサイトからの予約についての案内を強化します。	
6	来館者サービスとアウトリーチサービス、どちらを優先的に取り組むにせよ、自分自身の人生を豊かにするための情報をキャッチできる場所として、発信していくことが大切なのかと思われます。具体例:高齢者のニーズにこたえる資料の充実→大活字本や、健康促進等に関する実用書を見やすい場所へ配置。塩尻図書館のように一つのコーナーにまとめてもいいが、場所さえ近ければ、実用書と大活字本を分けても問題はないと思う。大活字本は、小説エリアの中でも入り口寄りに置く方が、実際に利用するシニア層にとってもアクセスしやすく、また全利用者に対するアピールにもなる。朗読や落語CDなど高齢者にニーズが高いであろう事業や資料のアピール。	・高齢者施設に向けて、大活字本、写真集ほか要望に応じた資料をそろえての団体貸出を行っています。(東豊中図書館) ・デージー図書、点字資料、大活字本、朗読CD等を同じコーナーに集めて配架している図書館もあります。岡町図書館は点字図書は4階、朗読CDは2階のCDコーナー、大活字本と医療・健康情報コーナーは2階貸出室の奥に設置しています。大活字本からデージー図書へ移行される利用者も多いため、切れ目のないサービスの案内や、資料のPR方法、配架場所についても検討していきます。	<b>団体貸出の強化</b> ・来館や滞在中の利用が制限されるため、高齢者施設への団体貸出やリサイクル本の提供をさらに進めます。 <b>展示の活用</b> 図書館の障害者サービスや資料を知ってもらえるよう点字資料、デージー図書、さわる絵本、大活字本等の展示を行います。	

## 全体に対するご意見

	委員からのご意見(令和2年3月17日時点)	豊中市の図書館の取り組み状況 (令和元年第3回図書館協議会資料 3月18日開催)	令和2年6月以降の 高齢者サービスの展開	備考
7	<p>他部署との連携は、高齢者サービスにおいて重要なポイント。すでにいろいろと取り組んでいるが、もっと多面的な取り組みができるのではないか。豊中市の高齢者施策との関連だけでなく、教育や福祉様々な分野で連携ができるのではないか。また、高齢者に対するサービスだけでなく、高齢者をサポートする側に対する資料提供などのサービスも「高齢者サービス」ととらえては。</p> <p>具体例:認知症予防等の啓発行事を、他部署と連携でおこなう(福祉だけでなくいろいろなアイデアを) 昔遊びなどの多世代の交流事業を図書館で行う(わらべ歌や自然工作、歴史や文化の資料提供も絡めて) 自分史づくりを子どもや若い世代がサポート(共有)する 介護者の心のケアにつながる資料提供など</p>	<p>・高川図書館に「認め合い、知って納得！認知症情報コーナー」を設置(R2.2.29～試行)。後見人、レクリエーション、紙芝居、医療、介護、闘病記などのテーマで通覧できる量の資料と、認知症に関するチラシやパスファインダー、医療健康レクチャー講師の市立豊中病院看護師お薦めの本やチラシをブックトラックに載せて、コーナー展示しています。フロア奥の目立たない場所でありながら、利用者の目には入る通路突き当りに設置するなど場所を工夫しています。緑地地域包括支援センター高川分室(上階)との連携も考えていきます。</p>	<p><b>展示の活用</b> ・螢池図書館においても、令和2年度6月より認知症の情報提供コーナー(常設)を設けました。貸出可能な資料と関連チラシなどを常設展示しています。</p>	